



日本共産党区議会議員
かつとし
みやざき克俊

事務所 品川区豊町6-2-1 TEL3786-6674

2007年3月18日 No.569



共産党区議団
アンケート

1349名から切実な声

広がる「格差」と「貧困」うきぼりに

ご協力ありがとうございました

設問1. くらしと雇用について

| | | |
|----------|------|-------|
| くらし良くなった | 62人 | 5.2% |
| 悪くなった | 600人 | 50.7% |
| 変わらない | 522人 | 44.1% |
| 雇用 正社員 | 342人 | 2.07% |
| 非正規 | 208人 | 16.4% |
| 自営業 | 176人 | 13.9% |
| 失業中 | 40人 | 3.2% |
| 年金生活 | 417人 | 32.9% |
| その他 | 83人 | 6.6% |

設問2. 海外調査について

| | | |
|--------|------|-------|
| 今までどおり | 60人 | 5.0% |
| やめるべき | 936人 | 78.1% |
| わからない | 202人 | 16.9% |

設問3. 学校選択制について

| | | |
|-------|------|-------|
| 賛成 | 320人 | 28.8% |
| 反対 | 453人 | 40.8% |
| わからない | 338人 | 30.4% |

設問4. 介護・障害者福祉について

高齢者介護での希望(3択)

| | | |
|---------|------|-------|
| 介護保険料軽減 | 534人 | 18.8% |
| 老人医療費軽減 | 523人 | 18.5% |
| 特養老人ホーム | 508人 | 17.9% |

| | | |
|---------|------|-------|
| ヘルパー時間増 | 302人 | 10.7% |
| ディサービス | 236人 | 8.3% |

区の有料老人ホーム増設方針

| | | |
|-------|------|-------|
| 賛成 | 76人 | 7.0% |
| 反対 | 843人 | 77.1% |
| わからない | 174人 | 15.9% |

障害者1割負担について

| | | |
|-------|------|-------|
| 賛成 | 190人 | 17.7% |
| 反対 | 548人 | 51.2% |
| わからない | 333人 | 31.1% |

設問5. 住宅・まちづくり(3択)

| | | |
|----------|------|-------|
| 環境対策 | 503人 | 15.7% |
| 高齢・障害者住宅 | 445人 | 13.9% |
| 区営住宅 | 334人 | 10.4% |
| 情報公開 | 300人 | 9.4% |
| 建築物高さ制限 | 299人 | 9.3% |

設問6. 子育て支援について(3択)

| | | |
|----------|------|-------|
| 公立保育園増設 | 378人 | 12.1% |
| 保育料軽減 | 357人 | 11.4% |
| 労働条件改善 | 355人 | 11.4% |
| 児童手当増額 | 331人 | 10.6% |
| 子ども医療費無料 | 327人 | 10.5% |

※回答数は「無回答」を除きました。

日本共産党品川区議団が実施しているアンケートに1349名の方から回答を寄せていただきました(2月末時点)。ご協力ありがとうございました。今回は、途中集計した概要をお知らせします。(ウラ面につづく)

要望実現へ
頑張ります



自・公・民区政との矛盾はつきり 日本共産党は区民要望実現へ奮闘！

今回のアンケート調査への回答は前回(05年6月～8月・1129通)を上まわりました。品川区でも「格差」と「貧困」が拡大、自・公・民が支える品川区政との矛盾が浮き彫りになっています。日本共産党は、今予算議会など様々な機会に要望実現へ奮闘しています。

「くらし悪くなった」の声が 圧倒的多数に

アンケート調査結果の特徴の第一は、区民のくらしがいつそう悪くなったことです。

回答で「悪くなった」は50・7%と過半数にのびました。ところが、生活の苦しさを訴える声はこれに留まりません。「変わらない」の回答は44%を占めています。悪くなったまま

きも
とつた
でいつ
困は

ご相談ください

日本共産党区議会議員
みやざき克俊

Tel 3786-6674

変わらない」という主旨の意見が多く記載されていました。格差と貧困が拡大、固定化している傾向の現れであり、相次ぐ増税と負担増への悲鳴です。

学校選択制に賛成は少数

第二の特徴は、学校選択制への賛成が少ないことです。

アンケート調査では、選択性に「賛成」が320人、28・8%に対して、「反対」は453人、40・8%。一方、「わからない」も338人、30・4%にのびています。

八潮地域では「選ばれなかつ

た」中学校の廃校が決定、平塚小と平塚中の小中一貫校に突如、荏原二中を加えるなど、統廃合が加速していますが、住民の不安の現れです。

高齢者の願いは負担軽減と 特養老人ホームの増設

第三の特徴は、高齢者福祉への希望について介護保険料・利用料と老人医療費の軽減を求め

る声が第1～2位と圧倒的に多く経済負担の軽減を求めていることです。続いて、特養老人ホームの増設とヘルパーの利用時間拡大も求めています。

品川区は、介護保険スタート以降、新たな特養老人ホーム増設計画をつくらなため高齢者数比で23区で最下位グループにあります。その一方で有料老人ホームを増設する品川区に区民の批判が高まっています。

公立保育園増設こそ願

子育て支援に対する区民要望

のトップは公立保育園の増設です。「子どもを預けて働きたい」のに、保育料の高い「認証保育園」しか入れない事態が広がっています。保育料の軽減と児童手当の増額、子ども医療費無料化と経済支援の要望が多く、勤務先の労働条件改善⇨長時間労働の短縮を求めています。

低所得者の入れる住宅を

住宅・まちづくりについては、高齢者・障害者住宅、区営住宅の増設を求める声が多数を占めています。品川区は再開発での高級マンション建設に税金を投入していますが、所得が少ない区民向けの公共住宅の増設こそ区民の願いです。

日本共産党区議団はアンケート調査や毎週発行の議員ニュースなど議会報告に政務調査費を活用しています。用途はホームページで公開しています。

